



憧れの夢ブラをあっさりと

南アルプス 荒川出合 3ルンゼ アイスクライミング

小暮

【日時】 2015年1月31日(土)~2月2日(月)

【メンバー】 L小暮、笹川

【ルート】 3ルンゼ右のナメ滝、夢のブライダルベール、
ブライダルベール左奥の氷柱、アーリースプリング

もう10年も前になるが、高橋さんを中心に9名という大所帯で荒川出合に行ったときは、3パーティに別れて氷瀑群を登り、ゲレンデではないマルチピッチアイスを分散して登って非常に楽しい山行であった。その時に見上げたブライダルベールは圧倒的で、いつかは登ってみたいと憧れたものだったが、当時はまだまだ技術的には未熟で、V+をアックステンションしながら各駅停車で登れる程度であった。あれから道具も良くなり技術も向上したので、2-3年くらい前からブライダルベールに行くチャンスを狙っていたが、休みの関係や昨年は大雪の影響などで実現することは無かった。今年こそはと狙っていて、笹川と相談したところ1泊2日でも私は行きたいと思っていたが、アプローチが大変なので2泊ならいいよということだったので、月曜日を休んで行くことになった。

アプローチの林道は、1.2kmの長さの新鷲住隧道が出来たので、以前よりは距離が近くなって、野呂川発電所まで約10kmの歩きである。通常は、道路の雪も無いのでMTBを使って楽をしようと思って、しばらく使っていないMTBを整備して準備をしていたのだが、金曜日に雪が降ってしまった。代わりに、荷物を運ぶ折り畳みカートを使ってみたのだが、結果としては大失敗に終わった。奈良田発電所のところに車をとめて、開運隧道のゲートを通って林道を進む。道路は除雪されているなあと思ったら、すぐ先にブルドーザーが除雪の最中であった。その先は雪が10cm位積もっているが、何パーティか先行しているのでトレースはある。カートは早くもここで使えなくなり、担ぐ荷物が1個余計に増えただけになった。今回はカートがあることもあって、私がスクリュー全部と60mロープ2本を持っていたので、荷物はかなりの重量で大変だった。ネルトンフォールに行くという4人組と前後して進み、2時間30分で野呂川発電所に着いた。近くにテントは無く、トレースはその先も続いたので、3ルンゼ出合まで行くと既にテントが3張あり、元会員のI夫妻がテントを張って出発準備しているところだった。駐車場に車があったので、もしやと思ったが、やっぱりであった。隣にテントを張らせてもらい、我々も3ルンゼへ向かった。

◆3ルンゼ 右のナメ滝

氷瀑の近くに行くと、すでにブライダルベールとアーリースプリングにはそれぞれ取付いているパーティが居て、I夫妻も近くを偵察している最中だった。今日は短いアーリースプリングを登ろうと思っていたのだが、変更して右のナメ滝を登ることにする。下から取り付きへ行くと、1ピッチ目はほとんど雪で埋まっているので、通常の中段くらいまで上がってから、登攀準備をする。ちょうどI夫妻も2ピッチ目のところから登り始めたので、私達は右のラインを登らせてほしいと伝えて、ほとんど同時に登らせてもらうことになった。

1ピッチ目は小暮リードで通常の2ピッチ目の終了点近くまで登る。雪の下に氷がある感じだが、傾斜も緩く容易。さくっと登って、右側の腐った残置スリングのあった木より少し上の灌木でビレイ。

2ピッチ目もほとんど雪。笹川リード。少し立った部分もあったが特に問題ない。

3ピッチ目は右側からトラバース気味に登っていくと、テラスがありちょっと立った氷がある。以前登った際はこのテラスでピッチを切ったことを思い出した。最後は凹角をあがったところでピッチを切る。Ⅲ～Ⅳ+。

4ピッチ目。3ピッチで終わりかと思ったら、まだ上にも氷が続いている。笹川リードで右側の樹林帯へと抜けた。

以前登った時は、結構充実したのを覚えているが、今回はこんなに簡単だったかなというくらいあっさりとは抜けてしまい何となく物足りない感じもした。下降は、左岸には太い灌木が沢山あるので、こちらの灌木を使って氷瀑に近いラインを懸垂3回で降りた。



3ルンゼ右のナメ滝を登る

◆夢のブライダルベール

2日目はいよいよメインのブライダルベールへ向かう。早起きして暗いうちにベースキャンプを出発して取付きに向かうが、いつもより朝食などの準備が早く終わりすぎてしまい、まだ真っ暗なうちに着いてしまった。準備しようとしていると、2人組のパーティが現れてびっくり。ぶなの会のY川さんとJ会のA沢さんだった。彼らは暗いうちから登るので、先を譲って、我々は明るくなってから

登ることにする。A沢さんは、ヘッドランプの明かりを頼りに氷瀑に取付き真っ直ぐ上がっていったが、暗いので難しいラインに嵌ってしまい大変そうであった。ちょうどセカンドが登り始めるころにはすっかり周囲は明るくなって氷瀑の全貌がわかるようになった。



巨大な 夢プラ 135m

1ピッチ目 笹川リード 45m IV+。
我々は真っ直ぐは登らずに易しい左側へ登り、凹状の少し立った部分を抜けてテラスへ抜けるラインを登る。下から見上げると凹状のところでは笹川が苦勞している。ちょうど先行パーティも2ピッチ目の氷柱部分を登っているの、落氷もあるので素早く抜きたいのだが、なかなか抜けられないようだった。何とか上に抜けて、安定したテラスでビレイ。私もフォローで登ったが、凹状のところではトラバース気味に体を外に乗り出さないといけないので、難しいというより怖いムーブで精神的な恐怖感をいかに抑えられるかがポイントかもしれない。

2ピッチ目 小暮リード 55m V+。
今回のブライダルベールは、例年になく大きく発達していて核心の氷柱部分も太くてがっちりしていた。おまけに昨日と今日と登ったパーティの作った大きな穴や置きやすい足もあって意外にも登りやすい。トポのグレードVI-は明らかになく、体感V+であった。過去のWEBの記録で見られるようなシャワーも一切なく、快適なピッチであった。氷柱部分を抜けると、先行パーティは左側の灌木付近でピッチを切っているの、凹状から右へ登り、右端まで登ってビレイ。

3ピッチ目 笹川リード 30m IV+。
真上へ直登するラインはツララ氷が掛かっている。少しでも触ると



1ピッチ目の終了点と、2ピッチ目の核心部

ツララを落としてしまうので、触らないように少し下の傾斜のあるところでトラバースして左へ回り込んでいく。そこからは、少し傾斜の強い凹状を登る。ガラス質の氷で割れやすい。最後の落ち口は緩い傾斜で樹林帯へと続いている。

思い入れのあった氷瀑であったが、特に苦勞することもなく、あっさりと登り終えてしまった。下降は、左側の灌木を使って3回の懸垂で取付きまで戻った。今回は2泊で来ていて、まだ午前中にブライダルベールが終了してしまったので、3ルンゼの上流左奥に氷柱がかかっているのが見えていたので、そちらに向かってみる。

◆ブライダルベール左奥の氷柱

下から見えていた氷柱は水が滴っていて登れそうになかったが、その右側の下からは隠れて見えない位置にも立派な3段の氷柱があり、しっかりと凍っている。取付き付近は完全に垂直のツララ氷になっていて、とても難しそうだが折角なので登ってみることにした。今回は、難しい氷でもあるし、フォローが登れないと困るのでトップロープを張



ブライダルベール左奥の氷柱 45m VI ★★★

ることにして取付く。最初は氷柱の左側から登ろうとするが、足の置場がなく苦しい。いったん戻って右側から登ると、なんとか1段目をクリア。VI級以上の難しさだ。その先も2段目3段目も、最初の氷柱ほどではないが、完全なバーチカルの上に氷も硬いので難しい。巨大なブライダルベールを登ったあとだったので、小さくみえて30m位かと思っていたが、2段目の途中でロープ半分の30mになってしまった。長い!途中で右腕が攣りそうになってしまい苦しい。胸の近くに下げていたスクリュウを取ろうとすると攣りそうで取れない。アックステンションをなんとかこらえ、レストを繰り返してなんとか登る。最後の3段目もやっぱりバーチカルで苦しかった。

登り切ったあとにダブルロープを2本繋いでトップロープにしてみる。笹川もトップロープで取付いてみるが、最初の氷柱部分からテンションとなり苦しい。2本ロープを繋いでいるのでロープが伸びて、テンション掛けても少し下がってしまいアックス残置しそうになってしまう。難しいクライミングですっかり充実して

疲労困憊状態で本日は終了。テントに戻ってから、アイスクライミングの上手なI夫妻にこのルートを教えると、彼らは3日目に登りに行って、ルートが豊富なカナダのルートと比較しても★★★の上質なルートだと大絶賛だった。ちなみに、この氷柱の上にももう一つ15mほどの氷瀑が掛かっている、こちらもVI級位のようなので、2ピッチ登ると更に充実しそうだ。

◆アーリースプリング

3日目はアーリースプリングを登る。ここは、なかなか氷結しないこともあるようなので、この機会を逃さずに登っておく。10年前に来た時は発達が悪く、とても登れるような状態ではなかったが、今回は十分に発達している。基部は雪が載っているの、10mほどあがったところで足場を切り出して、そこから登り始める。



ばっちり氷結したアーリースプリング

ファルトが出ていて、日向にでると汗をかくくらい暖かい。下山では使えそうだったカートも、もともとタイヤの性能があまり良くないカートだったので、使いにくく結局途中から担いで下る有様で余計な荷物になってしまった。すっかり雪の無くなった10kmの林道歩きを冬靴で歩くのは辛く、靴擦れになりそうだった。

1ピッチ目 小暮リード 50m
IV級。最初の10mほどは氷が薄くてプロテクションが取れないが、かなり傾斜は緩いので慎重に登ればOKだ。登っていくと、前に登った人の作った穴などもあり快適にすいすい登れる。

2ピッチ目 笹川リード 35m
IV級。ナメ氷だが、足が攣りそうになったとのことで、少し休んでから登りきった

登攀時間は2時間。快適なクライミングだった。下降は左岸の灌木をつかって、2回の懸垂で取付きまで戻る。

3日間登り切って充実した楽しい山行であった。下山の頃には、すっかり道路の雪も融けていてアス



【行程】

- 1/31 奈良田第一発電所(8:00)～野呂川発電所(10:30)～3ルンゼ出合
BC(11:00/50)～右のナメ滝取付(12:30)～登攀開始(13:00)～終了(15:30)～
懸垂終了(16:25)～BC(16:45)
- 2/1 BC(4:30)～夢のブライダルベール取付(5:20)～登攀開始(6:30)～終了
(10:40)～懸垂終了(11:40)～ブライダルベール右奥の氷柱(13:00/16:00)～
BC(16:40)
- 2/2 BC(6:05)～アリースプリング取付(7:00)～登攀開始(7:30)～終了(9:30)～
懸垂終了(10:05)～BC(10:30/11:30)～奈良田第一発電所(14:40)

【地図】 夜叉神峠